

本科 5月22日(木)

第8・9回講座 「植物学入門」

講師 古木 達郎氏 (県立中央博物館主席研究員 兼植物学研究科長)

日時 5月22日(木) 10:00~15:00

場所 千葉県立中央博物館 大講堂

テーマは、植物とは何か？

新緑の青葉の森に囲まれた中央博物館において、古木達郎講師による「植物学入門」の講義が行われた。ゼニゴケは植物？ワカメは、シイタケは・・・との問い掛けに始まり、「植物界」の話から階層の分類単位、生物の学名のつけ方、そして植物の特徴へと講義が進むにつれて、シニアの受講生にとっては、かなり高度な講義内容となった。

午後はグループに分かれて、図鑑の検索表を引きながら、15種類のカエデの標本の名前を調べる作業が行われた。イロハカエデ、メグスリノキ、ヒトツバカエデ・・・と段々と区別は難しくなり、葉の標本だけですべてのカエデの名前を判断することは困難であるとの結論に至った。そして最後に標本の作り方が紹介され、標本の大切さについての話で1日の講義は終了した。

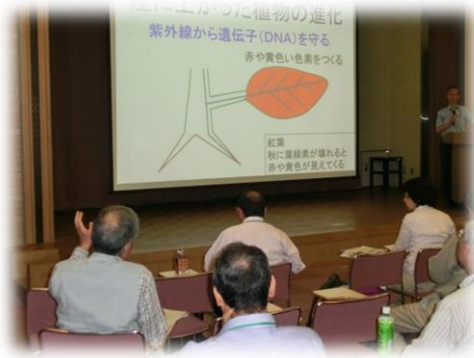
消化不良を起こしそうな高度な講義内容であったが、知識欲旺盛なシニアからは活発に質問なども飛び出し、これから受講する自然に関する授業に向けて、大いに参考となる講義内容となった。



ゼニゴケは植物？の質問に始まり、本日の講義内容を説明するコケの研究が専門の古木講師



シニアの受講生にとってはかなり高度な講義内容となった。



難解な内容については、活発に質問も出されました。



午後の授業のグループワーク



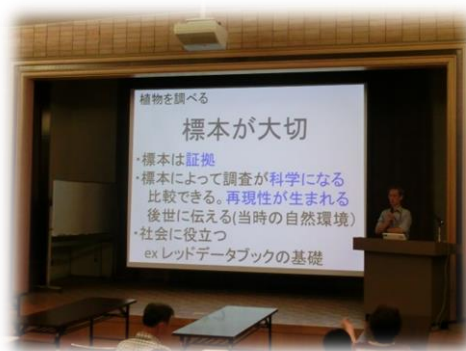
図鑑の検索表を使い、協力してカエデの名前を調べました。



15種類のカエデの名前を調べるのは大変でした。



講師の手助けを借りて、何とかカエデの区別をしました。



最後に標本の大切さについて説明されました。